

報告書抄録

ふりがな	どうやまこふんぐん							
書名	堂山古墳群							
副書名								
巻次								
シリーズ名	一般国道1号栗東水口道路1 栗東インターチェンジ計画に伴う発掘調査報告書2							
シリーズ番号								
編著者名	重田 勉							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月日	平成22年(2010年)2月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査 面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
どうやまこふんぐん 堂山古墳群	りっとうし 栗東市 ろくじぞう 六地藏	208	032	35度 1分 13秒	136度 1分 13秒	060821 } 070129	2,000㎡	国道建設 工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
堂山古墳群	古墳群	古墳時代 飛鳥時代 明治時代		古墳・溝 治山跡		管玉・須恵器 瓦		
要約	<p>過去に三角縁神獣鏡が出土したと伝えられる岡山古墳と同丘陵地における古墳の調査。尾根上最高位置に立地するが、副葬品をほとんどもたない木棺直葬を中心主体とする古墳であった。一方では近世の治山事業で破壊されたとみられる古墳の痕跡が確認され、古墳時代後期の須恵器が多量に出土した。古墳時代～近代に至るまでの、山間地における人間活動と地形の改変、遺跡のあり方を考えていく上で重要な事例である。</p>							